

## 国際化学肥料ニュース (2015年8月)

### 肥料業界の2015年8月動態

- \* 8月10日夜、中国政府の財務省、税関、国家税務局が共同で「化学肥料の増値税徴収再開に関する通知」を発表した。その内容は次の通りである。

「2015年9月1日から販売及び輸入される化学肥料に対して、一律13%の増値税を徴収する。現在執行している増値税の免税と徴収後返還の政策を停止する。」

化学肥料の増値税の徴収再開について、尿素やりん安などは原料と電力、水道などにすでに増値税が徴収されて、実際の増値税は生産と販売にかかるだけである。従って、尿素は約3~5ドル/トン、DAPは約5~10ドル/トンの税金が徴収される。一方、輸入に依存している塩化加里は40~45ドル/トンの増値税がかかるという計算になる。

- \* 8月28日、中国財務省税務総局が化学肥料の増値税徴収再開について補足通知を出した。その内容は下記の通りである。
  - ① 2015年9月1日から2016年6月30日まで、2015年8月31日現在在庫している化学肥料を販売する際に簡易課税方法を選択することができる。その簡易課税方法とは販売価格の3%を増値税とみなされて徴収することである。
  - ② 輸出の化学肥料について、2015年9月1日から国内販売と同様に13%の増値税を徴収する。輸出時期は輸出貨物通関申請書に書いている輸出日時とする。但し、2015年8月31日現在在庫している化学肥料の輸出について、①の規定に適用する。
  - ③ 納税者は2015年8月31日前に生産または購入して、販売されていない在庫の化学肥料について、9月1日以降の販売はその販売金額を単独記帳する。販売金額を分別せず一括記帳計算する場合は、①の規定を適用しない。
  - ④ 中国財務省税務総局が2008年公表した「農民專業協同組合の徴税政策に関する通知」(財税2008の第81号)の第三条「化学肥料」に関する規定は2015年9月1日から施行停止とする。(その通知の第三条は、農協が所属の組合員に化学肥料を販売する際に増値税を徴収しない内容であるが、その施行を停止して、9月1日から増値税を徴収することになる。)

- \* ブラジル税関のデータによれば、今年1~6月のりん安輸入量が大幅に減少した。輸入量減少の原因は、農産物の国際価格の下落とブラジル通貨安による国内肥料価格の上昇で、農家が生産コストを抑えるために肥料の使用量を減らせることである。

1~6月のMAP輸入量が26%減の93.3万トン、輸入元の内訳はロシア30.8万トン、アメリカ24.3万トン、モロッコ15.7万トン、中国14万トン。

一方、1～6月のDAP輸入量が33%減の27.9万トン、輸入元の内訳はアメリカ17.7万トン、ロシア3.8万トン、サウジアラビア3.7万トン、モロッコ2.7万トン。

\* アメリカ肥料研究所（TFI）の統計データによれば、アメリカのりん安は6月にこの3年間最大の月間輸出量の記録を更新した。MAP輸出量が24万トン、その中16万トンがブラジルに輸出された。DAP輸出量35万トン、その中14.3万トンがインドに輸出された。

\* アメリカCF社とCHS社は窒素肥料に関する長期契約を締結した。その内容は、CF社が毎年CHS社に110万トン大粒尿素と58万トン尿素硝安溶液肥料(UAN)を提供し、価格は市況に準ずるといものである。これに伴って、CHS社は予定されていたアメリカノースダコタ州に30億ドルを投資して、アンモニア、尿素と尿素硝安溶液肥料の生産工場の新設計画を中止する。

その背景は、2020年以降世界的に窒素肥料の生産が過剰となり、新工場の採算が厳しくなり、外部から購入した方がコスト的に安いという観点である。

\* 中国りん安肥料工業会のデータによれば、2014年末現在、中国のりん安(MAPとDAP)の生産能力が2350万トン(P2O5換算、以下同)に達したが、中国国内のりん安消費量が2005年からほとんど増加せず、1100～1200万トンに徘徊する。2014年の実際消費量が1147万トンで、輸出量375万トンを加えても、過剰の生産能力が828万トン、全生産能力の35.2%を占める。

中国今年1～6月のりん酸系肥料生産量が6.4%増の883.7万トン、その中りん安の生産量が10.0%増の804.2万トンであった。輸出関税の改正で、輸出が90.8%増の236.1万トン、大幅に増加した。

実際の生産と輸出データはDAPでは生産量が17%増の853.5万トン(実数、以下同)、輸出が121.9%増の282.3万トン、主な輸出先はインド123.1万トン、ベトナム44.9万トン、タイ20.3万トン、インドネシア12.1万トン、オーストラリア11.9万トン、アメリカ11.4万トン。MAPでは生産量が14.7%増の664万トン、輸出が133.6%増の139.2万トン、主な輸出先はブラジル62.9万トン、オーストラリア23.3万トン、アメリカ14.8万トン。

## 大手各社の営業業績

\* 7月28日、アメリカIntrepid社は上半期の業績を公表した。加里肥料生産量が5%減の38.9万トンであったが、硫酸加里苦土肥料の生産量が若干増加した。加里肥料の販売価格の上昇で、上半期の営業利益が8%増の4750万ドル。

Intrepid 社はユタ州の塩湖鹹水を原料で塩化加里のほか硫酸加里苦土肥料を生産している。生産量はアメリカ国内需要量の約 9%を占める。

- \* 8月13日、ドイツのK+S社は第2四半期の業績を公表した。売上高が16%増の9.144億ユーロ、納税前の利益が14%増の1.792億ユーロ、税引き後の純利益が46%増の1.187億ユーロ（約1.306億ドル）であった。売上高と利益の増加は加里と苦土肥料の輸出価格上昇のほか、北米地域に販売している凍結防止剤の値上げも寄与した。
- \* イスラエル ICL 社は第2四半期の業績を公表した。労働者ストライキの影響を受け、加里肥料生産量が前年同期より53%減の58.3万トン、販売量が47%減の71.9万トン、売上高が22%減の12億ドル、粗利が1.07億ドルである。但し、加里肥料の輸出価格上昇の恩恵を受け、純利益が10%増の7500万ドルである。  
ICL社の労働者ストライキがすでに5月下旬に終結して、従業員106名が退職し、19名が解雇された。第3四半期から業績が回復に向かう。

#### 肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

- \* 7月29日、ノルウェーのYara社はオランダにあるSluiskil尿素工場の大粒尿素生産ラインと硫黄被覆設備の増設に2.63億ドルを投資すると発表した。2015年下期着工、2017年下期の完成を目指す。  
Sluiskil尿素工場は2011年に完成した最新鋭の尿素工場である。生産能力は尿素40万トン/年と23万トンUAN（尿素硝安液肥）である。今回は現在の普通尿素の造粒設備を大粒尿素の造粒設備に変えて、硫黄被覆装置を新設して、硫黄被覆尿素を生産する計画である。完成後、硫黄被覆尿素の生産能力が66万トン/年になる。また、UANの生産を停止する代わりに、余った硝酸を使って硝酸アンモニア石灰肥料を13万トン/年生産する計画である。
- \* 中国黒竜江省鶴岡市に生産能力アンモニア30万トン/年、大粒尿素52万トン/年の窒素肥料工場を完成した。投資額5.5億ドル、原料は地元産出の石炭である。
- \* ベラルーシのSlavkaliy社は約16億ドルを投資して、ベラルーシStarobin地域に加里鉱山を建設する計画を打ち出した。生産能力180万トン/年、2020年に完成する予定である。このプロジェクトに対して、2021年から産出する製品を担保として、中国国家開発銀行が利息4.3%、返済期間14年の14億ドルの融資を提供する。

## その他

- \* カナダの **Canpotex** は、**CAMECO** 社の副社長 **Ken Seitz** 氏を新 CEO に指名し、2015 年 12 月 1 日から就任する。前任の **Steve Dechka** 氏は 32 年間 **Canpotex** の CEO を担当して、**Canpotex** を世界最大の加里肥料販売組合に成長させた功績があるが、高齢により退くことに決めた。
  
- \* 8 月 6 日、アメリカ **CF Industries Holdings** 社はオランダ **OCI NV** 社の窒素肥料とメタノール部門を買収すると発表した。買収金額 80 億ドル。買収に伴い、**CF** 社はそれを管轄する子会社をイギリスに新たに設立し、**CF** 社は 72.3%、**OCI** 社の株主は 27.7%の株式を持つ。買収は 2016 年に完了する。  
今回の買収内容は、**OCI** 社のオランダと北米にある窒素生産工場とメタノール生産工場およびそれに関連する世界の販売業務である。買収により **CF** 社の窒素肥料生産能力が 65%拡大し、年間 1200 万トン窒素肥料を生産することができ、世界最大の窒素メーカーとなる。また、**OCI** 社がアメリカテキサス州に建設中のメタノール工場も買収範囲に入る。当該メタノール工場は生産能力 175 万トン、2017 年に完成する予定である。
  
- \* 8 月 7 日、ドイツ **K+S** 社は再びカナダ **Potash** 社が提出した新たな買収提案を拒否した。
  
- \* チュニジア **GCT** 社の **DAP** と重過石生産ラインが再開した。りん鉱山の労働者のストライキによりりん鉱石の供給が滞り、6 月末からりん酸肥料の生産が全面停止した。ストライキの終結に伴い、8 月上旬に 2 本ある **DAP** 生産ラインの 1 本が稼働し始まった。また、3 本ある重過石生産ラインの 2 本が稼働している。9 月以降は生産ラインが全面再開の見通しである。
  
- \* カナダ **CBC** (カナダ放送協会) の報道によれば、現在、北米大陸に計 27 ヶ所の加里鉱山が建設中で、必要な投資額 343 億ドルであるとアメリカの調査会社 **Industrial Info Resources** 社の調査報告で明らかにされた。  
27 の加里鉱山建設プロジェクトの中に 17 ヶ所がカナダの **Saskatchewan** 州にあり、総投資額 307 億ドル、最大のプロジェクトは **Saskatchewan** 州 **Bethune** にあり、投資額 37 億ドル。他にアメリカアリゾナ州等にも加里鉱山の建設が進んでいる。
  
- \* エジプト国営ガス (**EGAS**) は、政府の要請に応じ、**Abu Qir** 社を除くすべての化学肥料工場への天然ガス供給を一時停止することを発表した。その理由は、エジプト政府が発電所に優先的に国産天然ガスを使用することを要請して、発電用原油の輸入に使う外

貨を節約することである。この措置により、エジプトは9月から尿素の生産量が大幅に減少し、輸出に悪影響を与える恐れがある。